

2018 スーパーFJ 日本一決定戦 参戦報告



Yota Nakatani



Mey handmade accessories

ツインリンクもてぎ

東北シリーズ最終戦より4ヶ月半のインターバルをあけ
12/16スーパーFJ日本一決定戦を迎えました。

スポーツランドSUGO以外のサーキットでスーパーFJの
レースを経験するのはこれが初めてのため、
事前にツインリンクもてぎで数日練習をこなしましたが
レース自体のインターバルが長いため、しっかり身体と
目を慣らしていくことを頭に入れ走行しました。

今回は参戦台数が32台と、SUGOで今まで経験してきた
レースの3倍近くのマシンが走り、更に各シリーズの
チャンピオンやランキング上位ドライバーも
エントリーしているためハイレベルな戦いが予想されます。

しかしスーパーFJよりも上位カテゴリーを目指すならば
このくらいの参戦台数は当たり前で、
レース経験豊富なドライバーとともに一緒に走れることが
できるのは、私のドライバーとしての経験値も上がるため
しっかり勉強することも目的です。



12/16(日) ～公式予選～

前日までの3日間の事前練習で日本一決定戦でのロットのニュータイヤで走行したことがなかったので、1セッション走った中古タイヤでのイメージから少しグリップするだろうと予想し、AM09:20にコースイン。

朝なのでかなり路面温度が低く、ニュータイヤなので走りはじめは全くグリップしないので、入念にタイヤを温めアタックに入ります。

位置取りはかなり良く、前車に引っ掛かることはなく終始クリアラップをとることができました。

アタック1ラップ目で、前日までのベストタイムを更新。

更に立て続けに次のラップも、少しではありますがベストタイム更新。

いい感じで乗れてきたため、ラップごとにタイムが上がっていきましたが、頭の中のイメージと現実での走行がリンクしきれず、徐々にミスが出てきてしまいます。

一番タイムが出る後半にミスが出てしまい、かなりもったいないラップが数周あったため、ベストタイムは中盤で記録したものとなり10番手。そのベストタイムのラップも一度シフトミスをしていたため

自らのミスに泣かされる予選となってしまいました。 **Best 2'06"006**



12/16(日) ~第1レグ~

公式予選から2時間半ほど時間を置きましたが、
日が陰ってきたため路面温度は低いまま。
予選と同様に入念にタイヤを温めPM12:05ダミーグリッドへ。

スタートは失敗してしまい後続何台かに抜かれましたが
3コーナーまでにポジションを挽回。
その3コーナーで接触がありコース上でスピンしている
車両もありましたが、上手く避けてポジションアップ。



その後前の車両についていき、抜きどころを探っていると、3ラップ目の3コーナーでまたも接触がありポジションアップ。10番手からスタートしこの時点で7番手を走行。
そのラップはぴったり前につけ90° コーナーで仕掛けようとしていました。迎えたヘアピン、前車のブレーキングポイントが私より手前で、突っ込みそうになりパニックブレーキ。それでもだめだと思い無理やりシフトダウンしたところシフトロックしてしまい、スピンしグラベルにつかまってしまいました。結果第1レグはリタイア。
決勝は出走可能なのか確認をとったところ、26番手から可能とのことになりました。
せっかくポジション上げていたのに自らのミスでチャンスを台無しにしてしまいました。

12/16(日) ～決勝～

第1レグでリタイアとなってしまったため、26番手という後方からのスタートですが、もう失うものはないので全く緊張もせずむしろ何台抜きできるだろうかと、そのようなことを考えてリラックスしてPM03:00にグリッドへ。

フォーメーションラップでしっかり前後ともタイヤを温められてスタートも決まり一気に3ポジションアップ。前方のマシンの動きを見ているとタイヤが温まっていない感じがしたので更に順位を上げられるだろうと確信できました。

そして迎えたS字コーナー。前車にアウトから並びかけたところ、明らかなオーバースピードで後続にイン側から突っ込まれ、何の対処もできないままリアからグラベルに埋まりアームも曲がったため再スタートできずオープニングラップでリタイアとなりました。

レース序盤で大幅にポジションをあげていこうとしていただけに、残念で仕方ありません。嘆いても仕方ありませんが、これで私の2018年の日本一決定戦は幕を閉じました。



～まとめ～

今回もたくさんのご声援・ご支援をありがとうございます。
支援がなければレース参戦も危ぶまれましたが皆様のおかげで参戦が可能となりました。
そんな中良い結果で恩返しできずに申し訳ありません。

最後は接触されレースが終わってしまいましたが、
元をたどれば事前練習走行が始まった木曜日から
しっかりと流れを作っていけませんでした。



金銭的な理由から練習用のニュータイヤを購入せずに
SUGOで使用したタイヤで練習走行しましたが、今回のもてぎで用意されたタイヤのグリップ力に比べ全くグリップしないタイヤで、いざニュータイヤを履くとグリップしすぎて走り方がわかりませんでした。
事前にニュータイヤで練習できていれば、タイヤのおいしいところをもっと引き出せたはずですし、
タイムももっと縮めることができたので、予選でも上位にくいこめたはずです。そうなってれば、接触に巻き込まれるようなこともありませんでした。
今回はレースでのタイム差云々よりも、そういったサーキットでの過ごし方や、準備について自分が甘かったことを痛感させられ、それも含めいい勉強にはなりました。
最後になりましたが2018年シーズンはこれで終了しました。皆様のご声援、ご支援のおかげで1年目からSUGOでは結果を残すこともできました。ありがとうございます。来シーズンもよろしくお願い致します。



Mey handmade accessories